

頁一十六共合と刊朝

[illegible]

三陸の一番報 邸政 社公

仁川観測  
の観測と

一

江原道  
成鏡北道  
平安南道  
平安北道  
黄海南道  
慶尚南道

允性謹

[illegible]

英國大

大正四年の大豆、要並に絹作に就き各道よりの報告を綜合するに本年は	<b>本年は豊作</b>	京畿道 八十八萬石 三〇九萬石 忠清南道 五十九萬石 忠清北道 九十二萬石 全羅南道 一四六萬石 全羅北道 二四七萬石 慶尚北道 一四二萬石 慶尚南道 一四二萬石 江原道 八十七萬石 平安南道 一四四萬石 平安北道 一四四萬石 咸鏡南道 一四四萬石 咸鏡北道 一四四萬石
----------------------------------	--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

國體

二百六十七萬餘石  
大正四年の太玉作は忠清北道に於て  
豊登を愛りし而び安南道北道に於て  
水漲を憂へしに於て振して良好  
なり、今九月一日の現況に徴する  
其收穫は黒田二百六十七萬四千七百  
石、高田二百六十七萬四千七百石、  
大正四年の綿作は發芽當時の大候際  
調なれし爲概して良好なる發育を  
起るに郊

綿作豫想高  
六百七十七萬餘石  
昨年の  
米突の  
而して之

## ク

内田民政長官商團第9に於て定期より一晝夜以上遲延して十日鐘門司到着春帳に依て後別府へ向け出發せり氏の談に曰く今、暴風雨は臺灣航路開始以來のレコードを破り椅子の脚折れん計りに余も新任宗谷艦長の

氣

全南道	10,782	一萬元	相模原町等官具	收	養	高	資養平川
全羅南道	10,382	九千五百元	明治十七年	一八三三	四〇七	一頁	京城電氣
全羅北道	二八,一六二	三萬七千五百元	明治十四年	一八三三	四〇七	一頁	是六分
慶尚道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	四八四	四六八	四頁	人
慶尚北道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	
平安道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	
平安南道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	
江原道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	
咸鏡北道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	
咸鏡南道	二八,一六二	三萬七千五百元	大正二年	五七九	七九六	九頁	

地方商標豫想高反比 年數收市之比較

▲小服部 資養平川  
▲腰掛具 京城電氣  
▲兵衛衛門 是六分

五〇〇

[illegible]

THE END

[illegible]

20

二百六十七萬餘石  
大正四年の太夏作は忠清北道に於て  
豊穰を蒙りて又々安南道北道に於て  
水災を蒙りし而已に於て振して良好  
なり、今九月一日の現況に徴するに  
其收穫は黒粟二百六十七萬四千七百  
石、高梁二百六十七萬四千七百石、  
穀類二百六十七萬四千七百石、  
綿作豫想高、六百七十七萬餘石  
大正四年の綿作は發芽當時の大豊稔  
調なれば爲り概して良好なる發育を  
起るに郊

總計 計五萬三千三百三十三石  
米突の而して之  
昨年の

比較

明治四十三年  
 明治四十四年  
 明治四十五年  
 明治四十六年  
 明治四十七年  
 明治四十八年  
 明治四十九年  
 明治五十年  
 明治五十一年  
 明治五十二年  
 明治五十三年  
 明治五十四年  
 明治五十五年  
 明治五十六年  
 明治五十七年  
 明治五十八年  
 明治五十九年  
 明治六十年  
 明治六十一年  
 明治六十二年  
 明治六十三年  
 明治六十四年  
 明治六十五年  
 明治六十六年  
 明治六十七年  
 明治六十八年  
 明治六十九年  
 明治七十年  
 明治七十一年  
 明治七十二年  
 明治七十三年  
 明治七十四年  
 明治七十五年  
 明治七十六年  
 明治七十七年  
 明治七十八年  
 明治七十九年  
 明治八十年  
 明治八十一年  
 明治八十二年  
 明治八十三年  
 明治八十四年  
 明治八十五年  
 明治八十六年  
 明治八十七年  
 明治八十八年  
 明治八十九年  
 明治九十年  
 明治九十一年  
 明治九十二年  
 明治九十三年  
 明治九十四年  
 明治九十五年  
 明治九十六年  
 明治九十七年  
 明治九十八年  
 明治九十九年  
 明治第一百年

一六八

[illegible]

朝刊と合せて二十頁

發行所 會京 京城目報社  
 電話 三三六二  
 東京 三三六二  
 大阪 三三六二  
 神戶 三三六二  
 名古屋 三三六二  
 京都 三三六二  
 福岡 三三六二  
 仙台 三三六二  
 札幌 三三六二  
 青森 三三六二  
 岩手 三三六二  
 秋田 三三六二  
 山形 三三六二  
 福島 三三六二  
 茨城 三三六二  
 栃木 三三六二  
 群馬 三三六二  
 埼玉 三三六二  
 千葉 三三六二  
 東京 三三六二  
 神奈川 三三六二  
 新潟 三三六二  
 富山 三三六二  
 石川 三三六二  
 福井 三三六二  
 山梨 三三六二  
 長野 三三六二  
 岐阜 三三六二  
 愛知 三三六二  
 三重 三三六二  
 滋賀 三三六二  
 京都 三三六二  
 大阪 三三六二  
 兵庫 三三六二  
 奈良 三三六二  
 和歌山 三三六二  
 鳥取 三三六二  
 徳島 三三六二  
 香川 三三六二  
 高松 三三六二  
 愛媛 三三六二  
 高知 三三六二  
 福岡 三三六二  
 佐賀 三三六二  
 長門 三三六二  
 大分 三三六二  
 熊本 三三六二  
 鹿兒島 三三六二  
 那霸 三三六二

允費

[illegible]

米地國

[illegible]

國體

大正四年の「大正作」は忠清北道に於て  
 害を受け、又大正作は忠清北道に於て  
 水害を蒙りし而已にして慨して良好な  
 なり、九月一日の翌日に於て良好な  
 其收穫は、二百六十七萬四千七百  
 二、六百七十七萬餘石  
 綿作豫想高  
 六百七十七萬餘石  
 大正四年の綿作は發芽當時の天候順  
 調なりし爲め概して良好なる發育を  
 遂げしものと見て、

ク

内田民政長官商船警戸九にて定期より一晝夜以上遅延して十日朝門司に到着春帆樓に休憩松別府へ向けに出發せり氏の談に今回暴風雨は華海航路開始以來のレコードを破り椅子の脚折れん計りに余と新任宗谷艦長の

1

[illegible]











櫻川如燕口廣浪上義三郎速記

外に用がかい付るで大發狂つてヌイ  
／＼いつて居る、好い時もあるが惡  
い時もある新之助二三日間が惡くつ  
てスツカリ取られてしまひ、八百屋  
武助の二階へ歸つて來てボンヤリし  
て居る、此方は松葉屋の白菊、新之  
助が勘當になつたもの自分故へ金に  
不自由をして居るから白菊の方で無  
理な工面をして呼んで居りました、  
けれど寢の間に足は盡るの憤ひ、如  
何に松葉屋の花魁でもさういふ貢が  
れない譯だが之は取上げる處がある  
から貢いで居たので、白菊に夢中に  
なつて通つて來る客が野州佐野の郷  
士で服部丈左衛門といふ之は野州の  
東阿寺といふ寺の寄進金を貢つて金  
貨をして居る大盛、江戸へ來て吉原  
京町一丁目松葉屋の遊女白菊を見て  
世の中にこんな美しい女があるのか  
人間が一分で化物が九分だ西面  
色が黒黒でおまけに菊石があつて  
ない面だ汚くない面のこといつ  
までも幾帳へ紙銭を張つて松脂を  
いて砂場へ轉がして馬が踏付けて  
が引つて猫が引掻いたやうな面  
そんな手数のかかる面があるもん  
やアない、マアそれは一目と目  
れば胸が惡くなるやうな男だけれ  
も何にしてる金が澤山ある、番新  
の野といふ女が數事藏敷いやうに  
たしまして下へ置かねやうに待  
ちます、迷へば忽ち八大地獄へ墮  
れば即ち安養淨土、迷つて居れば  
果は海魚のやうにに縋られて縛ら  
れてしまつてセツセと通ひ詰める  
あるから決して服を許さない、い  
やうに丸めて酒で殺して癪かして

まふ、まるで鰯同様な野郎だ、けれどもお目出度い野郎だから之はまた白菊が己の了見が分らないから言事を背かないのだと思つて居ります、宿屋の亭主庄兵衛が「庄」服部「且」孫様どうも相續らず、御金盛でございします、又「庄」兵衛がい、どうもそういはれると面目ない私も、白菊の顔が見たさに斯うして毎日出掛けけるやうな次第で「庄」へ御尤までございします、本時に庄兵衛私も何だかんだといつて七百兩ばかり使つてしまつた、是こそ己の金ぢやアねへ、さうも知つての通り寺の貸付金だ、國へ馳りやア持合せの田地田畑山林を賣拂つても返さなけりやアならぬ、（事になつた「庄」御尤まで「又」其いしが花魁がまことに私に靡いて

宿弊の飯屋や八景園と違つて江戸の  
廓の全盛、その位々の見識はなけり  
やアならん、曰くは縁結だが己の身  
にさつて見るさ金を遣つて女が自由  
にならぬといふのは馬鹿く／＼しい  
ぢやアないか 庄次は御尤もでござ  
います、ぢやア旦那く尤もでござ  
いませ七百兩からお使なすつ乗掛  
つた舟でございますから寧ろ身受け  
をなさいますし 太一、ア身受けをす  
るのか 庄次うしてお國へ連てお出  
でなすつて歸に結はせて、當分は廓  
の癖が抜けないから出人の者にチヨ  
イと知れないように離密へでも入  
れて置いて、夜になつてから旦那か  
お出なすつて差で一口召上る、花魁  
がチヨイと三味線を取つて爪弾の二  
り、親にもらう五本の指を四本生  
には誰がしたボンにお前は罪人な  
太一コレ／＼貴様か唄つては往  
かぬ

徳富蘆花著 第百三十九版  
 小 説 不 如 歸  
 定價金四十五圓 郵税本社持  
 日本一の面白き小説として誰知  
 らぬ者もなきは此の不如歸なり  
 今や天下何れの家庭にも行き渡  
 らざるなき有様なり、然れどそ  
 の需用は毫も衰へず、我が出版  
 界空前の版数を重ねるに至れり  
 殊に目前以後の著者に蘆花氏自  
 ら起稿の動機と事實に就き述べ  
 る序文を添ふ、此序文を見れば  
 益々不如歸の面白きとを知べし

[illegible]

未だ

安奉沿線五龍背驛を距る二丁  
 開靜にして避暑に宜し、避暑に宜し  
 滿洲五龍背溫泉  
 風光絶佳にして一大樂園地なり  
 諸病に特効あり理想的療養場なり  
 宿泊、下宿、自炊、各様の設備あり

寫眞出張撮影  
 寫眞銅版・亞鉛版  
 寫眞と印刷とを兼ねた最も廉價  
 寫眞と印刷とを兼ねた最も廉價  
 寫眞と印刷とを兼ねた最も廉價  
 寫眞と印刷とを兼ねた最も廉價

寫眞製版部  
 京成日報社

活字販賣  
 附屬品  
 各種

京成太丁通一丁目 初田活版製造所

資本金 五百萬圓  
 頭取 安田善三郎

京城市本町壹丁目  
 株式會社 一百三十銀行 京支店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候  
 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要地に有之候

京城市本町六丁目(元軍司合部通)  
 金井眼科醫院  
 院長 金井豐七

京城市永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)  
 酒井婦人病院  
 入院隨意  
 電話二六〇〇

資本金 貳千百五十萬圓  
 積立金 九百廿五萬圓  
 京城市本町二丁目(振替貯金京城二一番)

株式會社 第一銀行 京支店  
 頭取 男爵 澁澤榮一

銀行一般の業務に確實を旨とし精々御便利に取扱申候  
 内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候



四行政設施

地方官と其施設  
地方官は明治四十二年舊縣政  
府時代に制定せられ、併合後、各  
府縣に設けられ、地方官は各  
道に之を置き、道長官之を管理し、財  
政、警察、教育、衛生、農林、工務、  
交通、鑛務、私立學校、夜學、授  
業、授業、及國語、算術、理科、  
其は各道に、第一教育事業に在りて  
は各道に、第一教育事業を設置し、又道に  
依り、商業、學校を經營す、其は公立、立憲  
道、警察、衛生、農林、工務、交通、鑛務、  
私立學校、夜學、授業、授業、及國語、算術、  
理科、其は各道に、第一教育事業に在りて  
は各道に、第一教育事業を設置し、又道に  
依り、商業、學校を經營す、其は公立、立憲

大谷光瑞

十、天然と人（承前）

を殺せしめて死に近づかんとせり。に恩者あり而て去て生を食る屍を欲するは恰も清水を飲んで魚を嫁ぐ如し世に恩恵自給ありと雖も此矛盾の理ある可らず世に又恩者の主義個人主義自然主義を説く其所各説を異にし主難する所也。主義者に同じ我今此各主義の歴史のみを挙動するに非ず然る點を以てのみ是皆動を避ける素め死を恐て敵を愛するの徒にして構むべき相なりとす我實に平和を愛する生物大利は一に平和によりて享受せられ、寧ろ平和は最大の活動を繼續す

グードノウ氏の原文より

六、支那現時の要求

政府に變更して其成功を直ちに希望するは不可能と云はざるを得ぬ、

に如何なる關係を及ぼすやと云ふ  
研究は自然現今支那の政治狀  
況にして支那人の常に顛覆せんと  
計りし異民族の統治者にあらず

其の帝制は、條約力を用いて  
しかたに、其の帝制を維持する  
存在し、而して憲法制定委員を設け  
て新大立憲政體を適用した事であ

民の一般智識は低級と云はねばなら  
然れども異民族の統治に對する厭惡

は其君主立憲政體の適用を不可能とならしめ清朝顛覆の際には共和政體の

八の政治能力は又低級である。然るに、設立は蓋し已むを得ざる次第であつたと思はれる。勿論支那は疑もなくに僅か五年以前に敬制政府より共和

大連常置員

鼎案著人解は一  
 六連には既に商業會議所が出来  
 多額の希望であつた自治機關

る事になつて試験的に踏  
る事になつて試験的に踏

に違<sup>ちが</sup>ふのだから執行機關<sup>しやうぎんきくわん</sup>の事務<sup>じむ</sup>も極<sup>きよく</sup>めて狭小<sup>きやくせう</sup>なもの

これは大連と旅順の双方一時に出るので旅大邦人は昨今その準備を

市長問題やら何や角やで色めいて  
充分な自治を望んで居る者もある

## 祝

「ビューテアー」出づ

無類の新煙にして開會  
旨により特製せる香味  
本品は共進會記念の趣



入本十包一  
厘五錢二價定

中ちうに限かぎり破格はかくの廉價れんかに  
て華客くわかくに提供ていきよう可仕候つかまつりそふ

試みに「新煙「ビューター」を一度御喫用になれば其の人は良煙にして喫む心地良さに驚いて一生斯の煙草を離すまいと御決心になります

東亞煙草株式會社



グニシングホストの評論に曰る  
る筈なるが右は近く大連に臨  
車乗客五萬  
乗るなり或は電車に候るか失れん

王 じく向上せり是れ南浦米の危機 日南大門著、關門日新閣主催百名

午後二時散會したるが詳細は朝刊紙「生徒」一稿は十三日水族館を觀覽の筈

二月歸任  
管理著  
在隨山月廟  
廟失火中



光臨門から西大門線へ  
一萬三千二百五十四人



景氣立つた本町通

### 影い人出

影い人出 賣店もはく  
影い人出 賣店もはく  
影い人出 賣店もはく

### 新線の成績

新線の成績  
新線の成績  
新線の成績

### 秋の釋王寺

秋の釋王寺  
秋の釋王寺  
秋の釋王寺

### 秋の平野

秋の平野  
秋の平野  
秋の平野

### 輝く旅路

輝く旅路  
輝く旅路  
輝く旅路

夫人等も賑々しく  
夫人等も賑々しく  
夫人等も賑々しく

絶好の参考  
絶好の参考  
絶好の参考

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き

有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き  
有樂館の舞臺開き



瓢の旗風 (55)

番衆浪人 商升年録書

詠 (十七)

前田玄以は、平常にも似て、頗る  
「花」を愛する。月も照らさぬ、  
前には好い景色が、御坊も共  
に、それを楽しもうぞ」  
「ハッ」と玄以は、胸を、  
其意を、背に、入る。石田佐吉  
も、忍びやかに、入る。玄以は、  
「只今、忍びの者、鼓表より  
立、御坊も共」  
「ハッ」と、何と云ふや？」  
「前田法師の口上にて、三七歳  
の、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、  
に、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、



「ハッ」と玄以は、胸を、  
其意を、背に、入る。石田佐吉  
も、忍びやかに、入る。玄以は、  
「只今、忍びの者、鼓表より  
立、御坊も共」  
「ハッ」と、何と云ふや？」  
「前田法師の口上にて、三七歳  
の、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、  
に、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、

「ハッ」と玄以は、胸を、  
其意を、背に、入る。石田佐吉  
も、忍びやかに、入る。玄以は、  
「只今、忍びの者、鼓表より  
立、御坊も共」  
「ハッ」と、何と云ふや？」  
「前田法師の口上にて、三七歳  
の、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、  
に、御坊も共、早稲田川に、  
出仕、はなかつたが、病氣、

Advertisement for various products including medicine and food. Includes text like '完全無比' (Absolutely Unparalleled) and '梅毒養生法' (Meitoku Shoujyohou).

Large advertisement for '油醬上最' (Best Oil and Sauce) and '紅茶' (Red Tea). Includes a logo with a bird and text about quality and origin.

Bottom section containing various notices and advertisements. Includes '金儲' (Money Saving), '西洋料理' (Western Cuisine), and '仁川ホテル' (Incheon Hotel).